

土壌警報!!

高機能な肥料や農薬、高性能な農機具の登場で、皮肉にも農業の根本である強く豊かな『土作り』の意識が薄れ、**土壌の痩せ・弱体化がまん延傾向**にあります。



『腐植酸』について

腐植酸は肥料ではありません。**土壌改良材**に分類される資材です！
その効用は土壌に散布し、すき込むことで土壌中の**肥料の養分を吸着させる力**を持ち蓄えることができ、土の中の有益な微生物のエサにもなり、肥沃な土を形成する資材です。

すなわち、腐植酸を土壌に投入することで土壌の**保肥力が向上**し、肥料効果を高める役割をしてくれる優良な土壌改良材なのです。

特に砂地や砂壤土のような肥料成分が流亡しやすい圃場や休耕地・耕作放棄地、年々**収穫量が落ちて**いる圃場、**肥料を変えたり量を増加させてもあまり改善の見られない圃場**や作物栽培には特に有効です。

近年、多くの圃場で保肥力が弱まり土壌が痩せてしまった状態で、毎年変わらず肥料をぶち込むだけといった栽培を繰り返されている状況が見受けられるようになりました。



専門機関による土壌診断を行うこと(当社紹介)で正確な土壌の状態が数値で明確になるので、一度試されてみてはいかがでしょうか？
※これまで行ったほとんどの圃場で保肥力の弱体化が確認できました。



栽培が上手くいかない例

やせた土壌
↓
肥料を入れても保持出来ない
雨で肥料成分が流亡することも
↓
作物が養分を十分に吸収できない
↓
収穫量低下・品質悪化

※途中、堆肥を入れたとしても
土壌の保肥力は上がりません



土 壌 改 良

やせた土壌
↓
腐植酸を投入
↓
堆肥を投入(有機物の増加)
↓
肥料を散布
土壌中の養分を吸着させ、流亡を防ぐ
↓
土壌中に養分がとどまり吸収
↓
収穫量増加・安定、品質向上

腐植酸の中身は、一例として

『フミン酸』(アルカリ性で溶出) + 『フルボ酸』(酸性で流出)の2つで成るものがあります。

但し、これらの腐植酸にも品質に差があるため、見極めも必要です。高機能・高品質な腐植酸であると1反当り60kgくらい散布すれば良いかと思われま

す。(※肥料や薬と違うので、多少多く入れても問題はありません)

尚、砂地や砂壤土、そして保肥力が弱体化していて収穫量や品質に問題があるような場合は、1反当り100kgくらいの散布をオススメします。

土作り(土壌改良)にて腐植酸を投入 → 堆肥を投入(完熟堆肥) → 肥料を散布 の順番で行う

※発酵が不十分な堆肥(嫌気発酵/臭い)は、かえって作物に悪影響で様々な病気の原因になるので注意しましょう。